



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社チノ一 上場取引所 東
コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 5,517 | 13.4 | 377 | 164.7 | 478 | 56.6 | 262 | 36.8 |
| 2023年3月期第1四半期 | 4,866 | 11.7 | 142 | 113.9 | 305 | 76.9 | 191 | 324.5 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 448百万円 (97.1%) 2023年3月期第1四半期 227百万円 (18.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 30.94 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 22.66 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 35,804 | 21,512 | 52.3 | 2,209.25 |
| 2023年3月期 | 36,289 | 21,574 | 51.8 | 2,214.16 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 18,742百万円 2023年3月期 18,784百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 52.00 | 52.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期 (予想) | — | 0.00 | — | 55.00 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 26,000 | 9.3 | 2,150 | 6.5 | 2,350 | 2.4 | 1,550 | 0.9 | 182.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期1Q | 9,260,116株 | 2023年3月期 | 9,260,116株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 776,659株 | 2023年3月期 | 776,534株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年3月期1Q | 8,483,526株 | 2023年3月期1Q | 8,468,927株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経済環境は、新型コロナウイルス感染症が5月に感染症法上の分類において5類に移行されるなど正常な状態を取り戻しつつあり経済活動の正常化が進んだものの、長期化するウクライナ情勢、エネルギー価格高騰、各国の金融政策変更に伴う景気の減速懸念や不安定な為替相場など、不透明な状況が続きました。

当社グループ事業全般に関係する製造業の設備投資につきましては、経済活動の正常化に伴い総じて堅調に推移しています。加えて脱炭素化に向けた世界的な流れは継続しており、各国政府の後押しも受けて企業の研究開発や設備投資の拡大の動きが続いています。

このような状況のなか、当社グループは、生産・開発の現場で不可欠な高精度温度計測・制御・監視用の製品、システムはもとより、電子部品や新素材等の成長分野における課題を解決するソリューションの提供に注力しています。

また、日本政府は2023年6月6日に改訂された「水素基本戦略」において、水素供給量を2040年に年間約1,200万トンに拡大する数値目標を新たに設定し今後15年間で官民合わせて15兆円の投資を行うとする政策を公表しましたが、当社グループにおいても、需要が急拡大している水素サプライチェーン構築関連分野における温度管理等に関する受注活動を積極的に展開しております。

売上高については、半導体をはじめとする部材の供給不足が一部を除いて解消され、国内及び中国を主とするアジア地域を中心に拡大しました。一方、受注高は前年の対前々年増加率が42.2%と高水準であったこともあり、前年同期比で減少となりました。

利益面では、部材価格の高騰やエネルギー価格の上昇等の影響はありますが、原価低減の取り組みを継続的に推進するとともに、前年度に取り組んだ販売価格の見直しが期初から寄与しました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の受注高は6,636百万円（前年同期比14.7%減）、売上高は5,517百万円（前年同期比13.4%増）となりました。利益については、営業利益は377百万円（前年同期比164.7%増）、経常利益は478百万円（前年同期比56.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は262百万円（前年同期比36.8%増）となり、前年同期比で増収増益となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益は例年、第4四半期に集中し、第3四半期までの各四半期の売上高及び利益は、第4四半期の業績水準に比べ乖離が大きくなる傾向があります。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は2,114百万円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益は254百万円（前年同期比52.1%増）となりました。半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は引き続き高い状態で推移し、グラフィックレコーダ、調節計、サイリスタレギュレータ等の売上が増加しました。海外市場においても、中国、韓国等のアジア地域で需要が好調に推移しました。

また、前年同期は中国の都市封鎖によるサプライチェーンの混乱の影響があり、一部の製品の生産・出荷に支障が出たことが、当期の売上高の増加要因のひとつとなっています。

②計装システム

売上高は1,565百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は265百万円（前年同期比69.5%増）となりました。脱炭素化関連分野として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の受注が拡大しています。

コンプレッサー評価試験装置についても、温室効果の低い自然冷媒対応の需要が活性化しており、受注が増加しています。

③センサ

売上高は1,645百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は265百万円（前年同期比46.1%増）となりました。放射温度計、温度センサとともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調です。また、AMS規格（航空宇宙産業における特殊工程の規格）対応の温度センサの需要も堅調に推移しました。

④その他

売上高は191百万円（前年同期比8.9%増）で、セグメント利益は40百万円（前年同期比463.0%増）となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびにセグメント利益 (営業利益)

受注実績 (セグメント別)

(単位: 百万円)

| セグメントの名称 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 (金額) | 増減 (比率) (%) |
|----------|------------------|------------------|---------|-------------|
| 計測制御機器 | 2,101 | 2,042 | △58 | △2.8 |
| 計装システム | 3,675 | 2,631 | △1,043 | △28.4 |
| センサ | 1,841 | 1,752 | △88 | △4.8 |
| その他 | 158 | 209 | 51 | 32.4 |
| 合計 | 7,776 | 6,636 | △1,140 | △14.7 |

売上実績 (セグメント別)

(単位: 百万円)

| セグメントの名称 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 (金額) | 増減 (比率) (%) |
|----------|------------------|------------------|---------|-------------|
| 計測制御機器 | 1,754 | 2,114 | 360 | 20.5 |
| 計装システム | 1,394 | 1,565 | 170 | 12.2 |
| センサ | 1,541 | 1,645 | 104 | 6.7 |
| その他 | 175 | 191 | 15 | 8.9 |
| 合計 | 4,866 | 5,517 | 650 | 13.4 |

売上実績 (地域別)

(単位: 百万円)

| セグメントの名称 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 (金額) | 増減 (比率) (%) |
|----------|------------------|------------------|---------|-------------|
| 日本 | 3,995 | 4,222 | 226 | 5.7 |
| アジア | 799 | 1,169 | 369 | 46.2 |
| 北米 | 34 | 55 | 21 | 62.6 |
| 欧州 | 31 | 64 | 32 | 103.0 |
| その他 | 5 | 4 | △0 | △8.0 |
| 合計 | 4,866 | 5,517 | 650 | 13.4 |

セグメント利益 (営業利益)

(単位: 百万円)

| セグメントの名称 | 前第1四半期 連結累計期間 | 当第1四半期 連結累計期間 | 増減 (金額) | 増減 (比率) (%) |
|----------|------------------|------------------|---------|-------------|
| 計測制御機器 | 167 | 254 | 87 | 52.1 |
| 計装システム | 156 | 265 | 108 | 69.5 |
| センサ | 181 | 265 | 83 | 46.1 |
| その他 | 7 | 40 | 32 | 463.0 |
| 全社費用 (注) | △369 | △446 | △77 | — |
| 合計 | 142 | 377 | 235 | 164.7 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて485百万円減少し、35,804百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ660百万円減少し、25,662百万円となりました。主な増減要因は、売上債権の減少1,040百万円、現金及び預金の減少990百万円、棚卸資産の増加1,299百万円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し、10,142百万円となりました。主な増加要因は、投資その他の資産の増加183百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて423百万円減少し、14,292百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ303百万円減少し、10,186百万円となりました。主な減少要因は、仕入債務の減少286百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ119百万円減少し、4,106百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少89百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、21,512百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想については、2023年5月12日発表の公表値から変更ありません。

今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,176 | 8,186 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 5,682 | 4,300 |
| 電子記録債権 | 2,599 | 2,940 |
| 商品及び製品 | 706 | 855 |
| 仕掛品 | 3,658 | 4,456 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,212 | 4,564 |
| その他 | 374 | 424 |
| 貸倒引当金 | △87 | △66 |
| 流動資産合計 | 26,322 | 25,662 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,027 | 3,050 |
| その他 | 2,551 | 2,541 |
| 有形固定資産合計 | 5,578 | 5,592 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 436 | 414 |
| 無形固定資産合計 | 436 | 414 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,008 | 4,192 |
| 貸倒引当金 | △56 | △56 |
| 投資その他の資産合計 | 3,952 | 4,135 |
| 固定資産合計 | 9,967 | 10,142 |
| 資産合計 | 36,289 | 35,804 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,697 | 2,628 |
| 電子記録債務 | 2,619 | 2,401 |
| 短期借入金 | 1,265 | 1,265 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 459 | 436 |
| 未払法人税等 | 470 | 203 |
| 賞与引当金 | 821 | 330 |
| 株主優待引当金 | 47 | 36 |
| 設備関係電子記録債務 | 137 | 194 |
| その他 | 1,970 | 2,690 |
| 流動負債合計 | 10,489 | 10,186 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,660 | 1,570 |
| 長期未払金 | 188 | 183 |
| 役員退職慰労引当金 | 135 | 117 |
| 退職給付に係る負債 | 1,887 | 1,885 |
| その他 | 355 | 348 |
| 固定負債合計 | 4,225 | 4,106 |
| 負債合計 | 14,715 | 14,292 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,292 | 4,292 |
| 資本剰余金 | 4,267 | 4,267 |
| 利益剰余金 | 11,050 | 10,868 |
| 自己株式 | △1,138 | △1,138 |
| 株主資本合計 | 18,471 | 18,289 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 341 | 477 |
| 為替換算調整勘定 | 158 | 153 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △187 | △177 |
| その他の包括利益累計額合計 | 312 | 452 |
| 非支配株主持分 | 2,790 | 2,770 |
| 純資産合計 | 21,574 | 21,512 |
| 負債純資産合計 | 36,289 | 35,804 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,866 | 5,517 |
| 売上原価 | 3,383 | 3,760 |
| 売上総利益 | 1,482 | 1,756 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料手当及び賞与 | 507 | 506 |
| 賞与引当金繰入額 | 96 | 102 |
| 退職給付費用 | 30 | 31 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 11 | 2 |
| 研究開発費 | 187 | 223 |
| 株主優待引当金繰入額 | 6 | 12 |
| その他 | 501 | 499 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,340 | 1,378 |
| 営業利益 | 142 | 377 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 6 |
| 受取配当金 | 27 | 31 |
| 売電収入 | 11 | 10 |
| 為替差益 | 84 | 46 |
| 保険解約返戻金 | 44 | 9 |
| その他 | 8 | 6 |
| 営業外収益合計 | 178 | 111 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 2 |
| 金融関係手数料 | 1 | 0 |
| 売電費用 | 4 | 3 |
| その他 | 8 | 3 |
| 営業外費用合計 | 15 | 10 |
| 経常利益 | 305 | 478 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | — |
| 投資有価証券売却益 | 11 | — |
| 特別利益合計 | 15 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 0 | 3 |
| 特別損失合計 | 0 | 3 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 321 | 475 |
| 法人税等 | 104 | 163 |
| 四半期純利益 | 216 | 311 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 24 | 49 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 191 | 262 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 216 | 311 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △108 | 138 |
| 為替換算調整勘定 | 114 | △11 |
| 退職給付に係る調整額 | 5 | 9 |
| その他の包括利益合計 | 11 | 136 |
| 四半期包括利益 | 227 | 448 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 151 | 403 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 76 | 45 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|------------|------------|-------|-------|------------|-------|
| | 計測制御 機器 | 計装 システム | センサ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,754 | 1,394 | 1,541 | 4,691 | 175 | 4,866 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,754 | 1,394 | 1,541 | 4,691 | 175 | 4,866 |
| セグメント利益又は損失(△) | 167 | 156 | 181 | 504 | 7 | 512 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 504 |
| 「その他」の区分の利益 | 7 |
| 全社費用(注) | △369 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 142 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|------------|------------|-------|-------|------------|-------|
| | 計測制御 機器 | 計装 システム | センサ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,114 | 1,565 | 1,645 | 5,325 | 191 | 5,517 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,114 | 1,565 | 1,645 | 5,325 | 191 | 5,517 |
| セグメント利益又は損失(△) | 254 | 265 | 265 | 784 | 40 | 824 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 784 |
| 「その他」の区分の利益 | 40 |
| 全社費用(注) | △446 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 377 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2023年7月11日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く。以下「対象取締役」という。）及び当社の執行役員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分を行うことについて決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたします。

1. 処分の目的及び理由

当社は、2022年4月28日開催の取締役会において、対象取締役に対する中長期的な企業価値向上のインセンティブの付与及び株主の皆様との一層の価値共有を目的として、対象取締役及び当社の取締役を兼務しない執行役員に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入することを決議し、また、2022年6月28日開催の定時株主総会において、本制度に基づき、対象取締役に対する譲渡制限付株式の割当のための報酬として支給する金銭報酬の総額を従来の取締役に対する金銭報酬枠とは別枠で年額40百万円以内として設定すること、及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間は割当てを受けた日から当社の取締役及び執行役員のいずれの地位からも退任するまでの期間とすること等につき、承認を得ております。

2. 処分の概要

| | | |
|-----|---------------|--|
| (1) | 処 分 期 日 | 2023年8月10日 |
| (2) | 処分する株式の種類及び数 | 当社普通株式 12,180株 |
| (3) | 処 分 価 額 | 1株につき 2,406円 |
| (4) | 処 分 価 額 の 総 額 | 29,305,080円 |
| (5) | 処 分 予 定 先 | 当社の取締役（社外取締役を除く）4名 7,807株 当社の執行役員 7名 4,373株 |
| (6) | そ の 他 | 本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。 |